

講習会実施報告 (7月～9月分)

◆コンクリート施工技術講習会 (6unit)

日 時：2021年7月9日(金) 10:00～16:30

開催方法：オンラインセミナー

講 師：十河 茂幸 氏 (近未来コンクリート研究会 代表)

参 加 者：107名

アンケート結果 (抜粋)

- ・今年にコンクリート主任技術者を受験しようと考えているので、参考になりました。
- ・場所を選ばずに参加できる点がいいと思います。



◆河川における維持管理の基礎 (8unit)

日 時：2021年9月16日(木) 13:00～17:00

開催方法：オンラインセミナー

講 師：齋田 紀行 氏 ((一社) 全国土木施工 管理技士会連合会 技術部長)

参 加 者：75名

アンケート結果 (抜粋)

- ・講義を受けて改めて気づいた点もあり、新しく得た知識もあり大変有意義だった。また、テキストの図や活字が見やすく、復習しやすい良いテキストだと思った。
- ・担当現場が気になり集中できない場合もあるが、会場への移動時間がないため参加しやすい。
- ・講義中でもインターネットで検索しながら受講できるので、良い講習方法と思います。



講習会・現場見学会 開催案内 (10月～12月分)

●新東名高速道路 川西工事 現場見学会

日 時：2021年10月14日(木) 14:00～16:00

開催方法：オンラインセミナー

協 力：清水建設(株)・岩田地崎建設(株)特定建設 工事共同企業体

●BIM・CIMセミナー

日 時：2021年10月22日(金) 13:00～16:00

開催方法：オンラインセミナー

講 師：浅賀 泰夫 氏 (株)大本組 土木本部東京 本社土木課長

- 内 容：(1)いまさら聞けないBIM/CIMとは
(2)BIM/CIMの基礎
(3)BIM/CIMの活用事例
(4)その他、情報提供

●新入社員半年フォロー研修会

日 時：※同一内容4回開催

2021年10月27日(水)

①9:30～12:30、②14:00～17:00

2021年11月2日(火)

③9:30～12:30、④14:00～17:00

会 場：御茶ノ水ソラシティカンファレンス センター

講 師：鈴木 正司 氏 (徳倉建設(株)取締役執行役員 技術本部長)

- 内 容：(1)先輩技術者の生き方を学び、 将来の目標を明確にしよう

- (2)コミュニケーションをとる手順とは
- (3)半年経過時点での誰もが感じる共通な「将来の目標」、「不安…」、「悩み…」とは
- (4)上司とのコミュニケーションの重要性
- (5)自分のやる気を引き出す業務に取り組む姿勢
- (6)段取り上手になるためのスキルアップ術

●環境管理講習会 (4unit)

日 時：2021年10月28日(木) 13:00~17:00

開催方法：オンラインセミナー

講 師：阪本 廣行 氏 (㈱フジタ 土木本部土木エンジニアリングセンター土壌環境部エグゼクティブコンサルタント)

- 内 容：(1)建設工事（土木工事）における公害対策について
(2)建設廃棄物の適正処理とリサイクル
(3)建設発生土と建設汚泥について

●若手技術者 (3~5年次)

フォロー研修会（土木技術者向け） (3unit)

日 時：※同一内容2回開催

2021年11月18日(木)

①9:30~12:30、②14:00~17:00

開催方法：オンラインセミナー

講 師：上月 晃生 氏 (㈱フジタ 東日本支社 土木統括部 土木部長)、南方 文明 氏 (㈱フジタ 東日本支社 土木統括部 土木技術積算部部長)、後藤 浩之 氏 (㈱フジタ 土木本部 土木エンジニアリングセンター積算部 部長)

- 内 容：(1)現場管理
(2)仮設計画
(3)品質管理
(4)原価管理

●基礎から学ぶ土木工学 (8unit)

日 時：2021年11月26日(金) 13:00~17:00

開催方法：オンラインセミナー

講 師：堺 逸郎 氏 (ケイヨーエンジニアリング事務所 代表)

- 内 容：(1)土質工学的な知識の活用について
(2)コンクリート工：製造打設フローにおける施工技術者の役割について
(3)施工管理者として、最低限必要な知識について
(4)3次元電子データのメリットについて



BOOK INFORMATION

『「近代化遺産」の誕生と展開 ——新しい文化財保護のために』

「遺産」概念の意味内容は、ここ30年の間に逆転した。嫌われていた「遺産」概念は、まちおこしや地域おこしのキーワードへと変わってきた。地域にある遺産に着目することで、日本の宝、世界の宝にもなった。それは、地域の誇りとなって、地元の人びとを生き生きとさせてくれる。

「近代化遺産」は、近代化を担った建造物や工作物を意味し、土木・交通・産業遺産の3種類あり、いまでは文化財保護行政の主要施策の一つになっている。従来、この種の著作は、近代化遺産や世界遺産の事例紹介や、個別制度などを紹介するものに分類できるが、本著のように歴史的な経緯を踏まえて概念的な整理と意味内容の相違と展開について論じたのは、本著がはじめてである。お堅い内容のように思えるが、読みやすく、筆者の

体験を通してまとめた本なので、内容は説得的だ。産業土木遺産などの歴史遺産に関心ある人には、ぜひ一読をお勧めしたい本である。



著 者：伊東孝
出版社：岩波書店
仕 様：A5判/262ページ
発行日：2021年7月16日
価 格：6,200円+税

